

福祉のかけ橋

平成11年7月 第19号



会長就任にあたって

井波町南山見地区社会福祉協議会

会長 高嶋清典

この度、はからずも前川正夫さんのあとを引き受け
ることとなりました。

前川前会長は、昭和六十二年当地区社協創立以来、
事務局長にひきつづき会長として現在まで十二年の長
きにわたり、地域福祉の増進に心身をなげうって尽力
され、今日まで地区社協発展に多大の貢献をなされま
した事は、自他共に認めるところであります。

浅学非才な私と致しましては、到底前任者の足元
も及びませんが、各位のご協力により、与えられた職
務に邁進すべく努力致す所存であります。

今や我が国は少子高齢化と併せて経済不況の中にあ
りますが、当地区社協としては、きめ細かな福祉サー
ビスにより、高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉など
多様なニーズに応えていかねばなりません。

「福祉は 人の心を救う 思いやり」を当地区社協の
メインテーマとして、住民がごぞつて参加することに
より、みんなの力で温かい福祉の町づくりを進めてま
いりたいと思います。どうかよろしくお願い申し上げ
ます。

南山見地区社協決算及び予算

(単位:円)

収入の部			支出の部		
科目	10年度決算	11年度予算	科目	10年度決算	11年度予算
会費	162,500	160,000	会議費	21,091	10,000
補助金	530,000	530,000	事務費	22,359	30,000
寄付金	46,000	10,000	事業費	641,575	700,000
繰越金	37,783	53,045	負担金	12,000	15,000
雑収入	167	26,955	諸費	26,380	25,000
合計	776,450	780,000	合計	723,405	780,000

平成10年度収支残高 53,045円は平成11年度繰越金としました。

平成11年度 南山見地区社協 事業計画

(事業費用内訳)

内 容	補助金	事業予算額	備 考
1. 地域福祉活動事業	22 ^{万円}	240,000 ^円	町補助金
広報「福祉のかけ橋」発行 感謝激励		20,000	7.12.3月発行予定
①合同ミニ託老所・敬老の集い		80,000	9月23日予定 80歳以上
②歳末見舞い		50,000	12月 一人暮らし・高齢世帯
一人暮らし老人友愛訪問		10,000	3月 花鉢贈呈
福祉活動推進		10,000	専門部会
福祉を耕す技能研修		15,000	四地区社協役員研修助成
保育所・老人・施設交流会		15,000	
先進地福祉事業視察		40,000	視察研修助成
2. 参加型福祉推進事業	20	320,000	県・町助成金 各10万円
ケース検討・ニーズ調査		10,000	
会食サービス		40,000	2回 一人暮らし・高齢世帯
緊急カード整備		10,000	
ミニ託老所育成		120,000	6単位老人クラブ
地域福祉サービス活動		20,000	福祉・除雪
ボランティアもう一人運動		5,000	10月
環境美化活動推進		5,000	花苗配布
在宅介護者リフレッシュ		80,000	3月
三世代交流ふれあいの集い		10,000	2月 公民館主催協力
ボランティア活動支援		20,000	材料費
3. 福祉活動育成事業	10+1	140,000	町社協・交通安全協会
交通安全協力		10,000	マスコット作り
八乙女福祉カレッジ			
①地域福祉研修講座		80,000	4回
②ミニ託老所世話方研修		40,000	2回
③講師派遣助成		10,000	ミニ託老所
合 計	53	700,000	

新しく地区社協役員が改選されました。

井波町南山見地区社会福祉協議会

役員名簿

(参加型福祉社会推進事業委員)



H11・6・15現在(任期 H11・4・13・3・31)

役職	氏名	住所	事務局	備考
会長	高嶋 清典	沖		町社協監事 民生委員
副会長	狩野 幸夫	東城寺		町社協理事 民生委員
常務理事	箭原 健二郎	今里	事務局長	町社協評議員
理事	武田 清信	院瀬見		町社協理事 地区老連副会長
〃	田村 一子	戸板		町社協評議員 民生委員
〃	武田 十四子	院瀬見	庶務	町社協評議員 V青葉グループ長
〃	滝田 栄三	谷		町内会長代表
〃	前田 安夫	谷		地区老連会長
〃	山本 綾子	谷		母子寡婦福祉会

役職	氏名	住所	事務局	備考
理事	吉田 吉明	院瀬見		身体障害者協会
〃	前田 俊夫	谷		遺族会
〃	久恵 博明	連代寺		青少年育成町民会議
〃	小橋 徳夫	戸板		児童クラブ育成会長
〃	前川 昭子	川原崎		婦人会長
〃	山本 康子	谷		男女共同参画推進員
〃	箭原 寛	連代寺		青年団
〃	銅 範子	連代寺		母親クラブ
〃	川田 順子	北市		南山見保育所
〃	富田 智世	沖		保育所母の会
〃	山本 幸雄	谷		公民館運営審議委員
〃	田村 玉喜	院瀬見		町社協心配ごと相談員
〃	須川 ユキエ	東城寺		V知る葉グループ長
〃	畠 和子	川原崎		V双葉グループ長
〃	林 みつ子	東城寺		V若葉グループ長
〃	高倉 トシ	志観寺		食改
〃	岩崎 保子	今里	庶務	ボランティアG
〃	徳成 花枝	沖	庶務	ボランティアG
〃	久恵 清治	連代寺	庶務会計	ボランティアG
〃	長田 綾子	院瀬見		町社協評議員
監事				民生委員

合計 二十九名

平成十一年度

第一回八乙女福祉カレッジ

「介護保険制度について」

講師 町住民福祉課保険係長

納村 昇行 氏

七月二十一日、町役場より講師を招き、同制度の説明と質疑応答の会を開催しました。

制度の説明要旨

- 1 介護保険のあらまし
- 2 介護保険の加入者について
- 3 介護保険料の納め方について
- 4 介護保険サービスを受けた場合の費用負担について
- 5 介護認定の受け方（申請）について
- 6 介護認定（自立・要支援・要介護1、5）について
- 7 介護サービス計画の作成について
- 8 介護保険を広域で進めることについて

質問要旨

ア、介護認定の申請はいつ行うのか（六十

五歳に達した時か、それとも介護を希望する状態になった時か）

イ、介護保険は終生納めるのか

ウ、六十五歳以上の方の保険料はどのようにして納めるのか

エ、四十歳から六十四歳までの方はどのようにして保険料を納めるのか

オ、右ウ・エの場合に妻などの扶養者がある場合その保険料はどうなるのか

カ、介護認定の仕組みはかなり複雑のように思われるが

キ、介護保険料を納めなかった場合、どうなるのか

今回のテーマは、新しく始まる介護保険

制度だけに皆様の関心も高く、大勢の皆様方がご参加下さり誠に有難うございました。

また、講師の長時間に亘る懇切丁寧な説明とパンフレットや説明書きの配布もあって、かなり理解を深めることができました。

この制度については、まだ未定・未確定な部分もありますので、出来れば当制度の

全貌が確定した時点で、地区の各種団体とも協議のうえ、再度開催したらと考えてお

りますので、よろしくお願い致します。

(事務局長記)

老人憩いの園

第九回 南山見地区

合同ミニ託老所

敬老の集い

日時 九月二十三日（秋分の日）

午前九時三十分予定

場所 南山見公民館

編集後記

梅雨明け後大変暑い日が続いております。お身体に十分ご留意され、健やかにお暮らしてください。

号数	第一九号
発行	平成十一年七月
所在	富山県井波町川原崎 南山見公民館内
発行者	南山見地区社協

◎ 読んだら綴りましょう